

4月20日 向陽高校「創立記念日」99周年

向陽高校は大正13年創立以来、今年99周年を迎えます。
2024年に創立100周年を迎えるにあたり、私達は今一度、本学園の歴史をかえりみて
～ゆるぐなし我が学び舎～ 建学の精神「奉仕」を引き継ぎ、未来へ向けて新たな息
吹を創造していかなばなりません。～栄えあれ我が学び舎～



「百年の重み」

高等学校校長 林下 功



99周年、よって今年度が100年目となる向陽学園です。この100年の重みを感じていない教職員は皆無のはずです。校長そして教職員には、生徒・保護者の方々へ、その重みと伝統をお伝えする責任があります。歴史をひもとけば、大正13年は関東大震災から1年も経たない頃です。そのような時代背景の中、県央地区において初めての私学設立に携われた方こそ初代理事長の鳥山武先生です。その後の向陽高校の歴史は、時代を先見し、他校に類を見ない斬新なデザインの校舎や制服、特色ある学科とその変遷にあったといえます。教育内容の充実のため、施設設備への投資や著名なその道の達人たちを大村の地まで招聘し、生徒たちの意欲や向上心を湧き起こし、向陽学園の知名度アップにつながったと自負しております。さらに次の100年に向け、新たなチャレンジや新校舎建設の準備を進めています。

ことに創立100周年の記念行事に向け全力で取り組んでおりますので、今まで以上に本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「建学の精神」

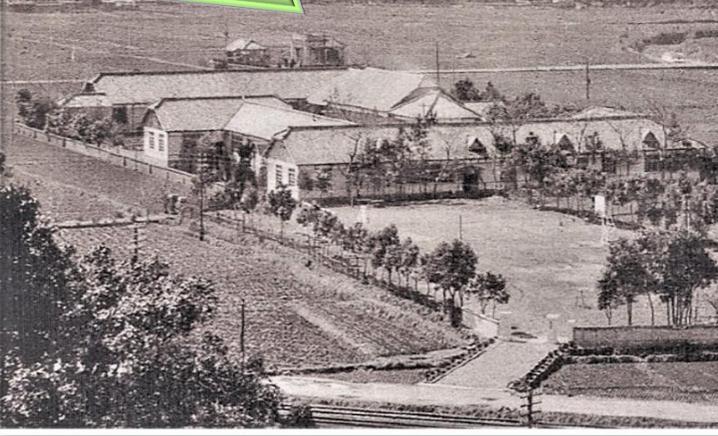
学校法人向陽学園 初代理事長 鳥山 武



「奉仕」の精神は人間が自己中心的な考えを捨て去り、人間存在の価値に驚嘆するとき、自然と湧出するものです。人間尊重の精神に基づき、自己を超越し積極的に他人の為自由を行使してはじめて自由の真価が現れ、人類に平和が訪れるものと思います。その行為が「奉仕」であり、その源泉は人間尊重の精神なのです。人間の、他人の価値を尊び、その恩恵に感謝しその証として奉仕する気持ちは「一粒の米」にも至らなければなりません。我が校は、こうした人間尊重の精神に深く根差す「奉仕」を建学の精神としたのです。

大正13年～昭和15年頃までの「大村女子職業学校」
大正13年7月～ 校舎建築(乾馬場郷、現:西三城町)
同年 4月20日 開校の祝典を挙げ、**創立記念日**とする
大正14年10月 「大村女子職業学校」と改称認可
 師範科設置(昭和2年～高等師範科)
 ※昭和15年 生徒数400名、寄宿舎生120名。

大正13年1月19日「大村裁縫女学校」設立
(写真は昭和5年頃の設立地付近)



昭和24年10月 向陽高等学校「旧第4校舎」落成
 分教場を移築し瓦運びをする生徒・職員
昭和23年10月「向陽高等学校」に改称
昭和24年10月「校歌」制定



昭和49年度 創立50周年
ソフトボール部高総体優勝（8回目）
体育祭（大村市営陸上競技場）
「文化祭」



昭和59年度 創立60周年
紫苑「第1号発行」S60.2月
「鶴田浩二」氏講演、寄宿舎生活



平成6年度 創立70周年
「文化祭・記念文化講演会」内海好江氏
「県高総体」入場行進



平成16年度 創立80周年
「第1回料理コンクール」
「神田川俊郎」氏来校



平成26年度 創立90周年
「記念文化祭」
第1回エステティックコンテスト
「たかの友梨」氏来校



創立80周年記念「乙女の像」
「自主風に向かって」
烏山英也第2代理事長直筆
※闘病中、病院のベッドで半身不自由な身体で書かれました。



<シリーズ> 2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて

創立100周年記念へのメッセージ(法人・企業様)

創立100周年、誠におめでとうございます。貴学園の今までのご功績に敬意を表すとともに、未来に向けてますますのご発展をお祈りいたします。
株式会社 ナカガワ 様

創立100周年、誠におめでとうございます。おかげさまで当院でも4名の卒業生が活躍しています。
医療法人長愛会 菊地病院 様

学校創立100周年おめでとうございます。
株式会社 ヴォーグ美容企画 様
創立100周年！正に誇りある学園です。
株式会社 大黒屋 様